

# I 検証に当たって

## 1 検証の総括

令和3年6月30日から7月4日にかけて、梅雨前線の影響により静岡県内では広い範囲で大雨となり、熱海市網代では、7月1日から3日にかけて平年7月の1か月分を上回る411.5mmの雨量を観測。7月2日から熱海市に大雨警報（土砂災害）及び土砂災害警戒情報が発表されていたものの、警戒レベル3の高齢者等避難が発令されるにとどまっていた。

そのような中、令和3年7月3日午前10時30分頃、静岡県熱海市伊豆山地区において発生した土石流は、逢初川源頭部（海岸から約2km上流）から逢初川を流下した。この土石流により被災した範囲は、延長約1km、最大幅約120mにわたり、9月3日現在で建物被害128棟、死者26名、行方不明者1名などの甚大な被害をもたらした。なお、9月3日現在も懸命な行方不明者の捜索が行われており、民間宿泊施設には9月3日現在で合わせて153名の方が避難している状況である。

この土石流の発生原因としては、逢初川上流域における残土の処分行為等との関連も指摘されており、全国知事会は国に対し「地元自治体と連携して、原因の究明に努めるとともに、再発防止策の徹底に取り組むこと」や、「建設残土に関して、法制化による全国統一の基準・規制を早急に設けること」などを要望しているところである。

岐阜県では、これまでも自県における災害経験や他県における大規模災害発生の都度検証を行い「今日は我が身」の心構えで防災対策を進めているところである。今回の静岡県熱海市の事例については、現在静岡県において詳細な検証作業が進められているところであるが、今回の災害から得られる教訓を我が事と捉えるべく、主に静岡県等の各機関による公表資料に基づき、現在分かる範囲でできる限り検証を行った。今後、この検証結果に基づき、市町村や関係機関と連携して対策を着実に推進していく必要がある。

なお、いわゆる「盛土」に関しては、現在も国土交通省を中心に全国的に調査が行われているところであり、本県としても、国の動向も踏まえつつ継続して調査を行っていく。

## 2 検証の体制、テーマ及び方法

### (1) 検証の体制

部局横断の災害検証チームを設置し、専門的知見を有する「清流の国ぎふ防災・減災センター」(※)と協働で検証を行った。

※清流の国ぎふ防災・減災センター

地域防災力の強化を図るため、実際に災害対応を行う岐阜県と、高度教育機能・研究機能を持つ岐阜大学が共同して、平成27年4月に岐阜大学構内に設置した防災・減災にかかる実践的シンクタンク機関

<清流の国ぎふ防災・減災センター参加教員>

能島 暢呂 (のじま のぶおと)	岐阜大学工学部教授
神谷 浩二 (かみや こうじ)	岐阜大学工学部教授
沢田 和秀 (さわだ かずひで)	岐阜大学工学部教授
吉野 純 (よしの じゅん)	岐阜大学工学部准教授
小山 真紀 (こやま まき)	岐阜大学流域圏科学研究センター 准教授
村岡 治道 (むらおか はるみち)	岐阜大学地域減災研究センター 特任准教授

### (2) 検証のテーマ及び方法

今後の災害対応力の向上及び防災対策の強化に資するため、盛土と安全対策、避難対策などをテーマとして設定した。その上で、テーマごとに静岡県熱海市の事象から検証項目を定めた。そして、設定した検証項目ごとに、主に静岡県や熱海市等の関係機関の公表資料をもとに、関係部局において検証シートを作成し、事象や本県における現状・取組み状況などの整理を踏まえ対応策を導き出した。

また、検証の間、8月11日からの大雨により県内でも被害が発生したことを受け、その対応についてこの体制を活用して併せて検証を行った。

なお、検証テーマごとに担当する教員を定め、専門的な見地からの検証を進めた。

**テーマ1** 盛土と安全対策 →神谷教授、沢田教授  
【環境生活部、農政部、林政部、県土整備部、都市建築部】

**テーマ2** 避難対策 →吉野准教授、小山准教授、村岡特任准教授

- (1) 避難情報発令に関する県、市及び関係機関の対応  
【危機管理部・県土整備部】
- (2) 避難行動要支援者への情報の伝達、誘導 【危機管理部】
- (3) 住民の避難意識の向上 【危機管理部】

**テーマ3** 被災者支援等 →吉野准教授、小山准教授、村岡特任准教授

- (1) 広域応援体制 【危機管理部】
- (2) 捜索救助活動
  - ① 緊急消防援助隊 【危機管理部】
  - ② 広域緊急援助隊 【警察本部】
- (3) 安否確認及び行方不明者の氏名等公表 【危機管理部・県警本部】
- (4) 避難先の確保（民間宿泊施設の活用） 【危機管理部・健康福祉部】
- (5) 応急給水の実施 【健康福祉部】
- (6) 地域の道路不通への対応 【県土整備部】
- (7) 罹災証明書の発行 【危機管理部】
- (8) 応急仮設住宅の確保 【都市建築部】
- (9) 災害ボランティアの受入れ 【健康福祉部】
- (10) 災害廃棄物の処理 【環境生活部】
- (11) 新型コロナウイルス感染症対策関係 【健康福祉部】

**テーマ4** 事前の防災対策 →神谷教授、沢田教授

- (1) 土砂災害警戒区域等の指定と住民への周知 【県土整備部】
- (2) 治山、砂防事業の実施 【林政部・県土整備部】

### 3 検証スケジュール

庁内照会
------

8月 4日（金） 第1回合同会議

場所：岐阜県庁4階 災害情報集約センター

議題：検証の概要、スケジュール

熱海市における土石流災害の概要

検証項目

検証作業の今後の進め方

検証に伴う盛土箇所調査

8月27日（金） 第2回合同会議

場所：岐阜県庁4階 災害情報集約センター

議題：静岡県熱海市における土石流災害の検証

中間とりまとめ

令和3年8月11日からの大雨における対応

の検証

検証作業の今後の進め方

9月 6日（月） 第3回合同会議

場所：岐阜県庁4階 災害情報集約センター

議題：静岡県熱海市における土石流災害の検証結果

令和3年8月11日からの大雨における対応

の検証結果

今後の進め方

9月14日（火） 岐阜県災害対策本部員会議

※ 各合同会議は、新型コロナウイルス感染症対策のため、県庁と清流の国ぎふ防災・減災センターの間はオンラインで実施

